

下諏訪町ものづくり支援事業

取組に至る背景・事業の目的

- 厳しい経済情勢の中、町内のものづくり企業を対象とした支援組織の一元化によるワンストップサービスの体制を確立する必要があった。
- 町全体の企業群を一つの会社「(株)下諏訪」に見立てて、経営資源の強みを活かした企業連携による地域製造業の集積と、維持発展及び工業振興に貢献するとともに、農商工及び異業種連携の推進を目的とし「ものづくり支援センターしもすわ」を、平成 23 年 4 月に設立した。

事業内容

- 同センターが行う下記の事業に対して補助金を交付する。
 - ・連携による新分野・新市場展開に対する支援
 - ・連携による受注確保や技術の高度化に対する支援
 - ・連携による販路開拓やマーケティング強化に対する支援
 - ・人材育成や後継者育成事業、経営サポートの充実
 - ・諏訪圏ものづくり推進機構のOB人材を活用した技術支援



【第16回機械要素技術展ブース出展】

事業効果

- 今まで単独では受注できなかった仕事も、町内製造業約 220 社に情報発信をして、意欲のある企業で連携体を構築することで、受注の確保、販路の開拓、新分野・新市場へと展開することができた。
- 受注支援事業で「水漏れしない水槽」を開発し、東京ビッグサイトで行われた機械要素技術展に出展したことで、全国に下諏訪の技術力の高さを示すことができた。
- パンフレットやホームページの開設によって広く情報発信することができるようになり、製造業に限らず様々な業種からの問い合わせが非常に増加した。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 町内製造関連企業約 220 社のデータベースを構築し、全ての企業に対してEメール等による公平な情報発信体制を確立した。
- コーディネーターによる営業のほか、支援センターホームページ及びパンフレットを作成して町内企業の受注窓口としての支援センターの利用を外部へ向けてPRした。(平成 23 年度受注金額 2,019 万円)
- コア企業を中心とした企業連携体の構築による製品開発を支援して、他業種も含めた産学官連携を図った。(平成 23 年度 13 件の企業連携体を構築)
- コーディネーターを中心とした連携支援により、平成 23 年度中 4 件が商品化に至ったが、今後、その販路支援も課題となる。
- 今後も引き続き企業間のビジネスマッチングといった受注支援、各種支援制度等の充実を図り、町内の工業振興を図る。
- 農商工連携、異業種連携、産学官連携を積極的に進め、単品加工から製品開発まで、あらゆる企業のニーズに対応できる体制を持つとともに、諏訪のものづくりの中心拠点を目指す。

【選定のポイント】
 企業間の連携により受注の確保、販路の開拓等、地域の産業振興に期待ができる。

団体名 下諏訪町 連絡先 総務課 企画係 電話 0266-27-1111	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">事業タイプ</td> <td>ソフト事業</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>9,478,911円</td> </tr> <tr> <td>支援金額</td> <td>1,496,176円</td> </tr> </table>	事業タイプ	ソフト事業	事業費	9,478,911円	支援金額	1,496,176円
事業タイプ	ソフト事業						
事業費	9,478,911円						
支援金額	1,496,176円						